

お見舞い

蘇玉静

登場人物

蓮

仁

仁、蓮、小中学校の同級生、親友。

病院のおばさん

婦長さん

病院 三〇四号室前
女ふたりがやや迷いながら現れる

仁 蓮
ここ？
そう、三〇四

二人が名札を見上げる

仁 蓮 範 暁雲。
蓮 違いなし。
蓮 えっ、一人だけ？
仁 ひとりっ、あゝ、よかったじゃない。
蓮 なに、この口調。
仁 受難者が出ないで済むでしょう！

蓮が一瞬止まって、笑い出す。仁も

仁 蓮 仁
入ろう。
蓮 うん、汗かいたよ。中でゆっくり待とう。
仁 リハビリ、いつ帰ってくるだろう？

ふたりが病室に入る。

仁 蓮 仁 蓮
四人部屋、広いつ
人がないからだよ。おゝ、窓、両面、いいね！
風が動いている。涼しい。なんか、いい香り。
文旦だ、ほら、テーブルの上、いい香り。

仁が窓の外をのぞく。蓮もついてくる。

仁 蓮 ね、のりだし過ぎ、落ちるよ。
蓮 あ、はい。わゝい、素敵。
蓮 何？
蓮 あの木、あの欒（けやき）の木。
蓮 欒、わかるの？
蓮 うん、芙美の学校にあるし、校名は「けやき」
へえ。

昆明に帰るちよつと前にね、「木のこころ」という
本に出逢って。

出逢い、本と？

ああ、はい、読んだの。えゝと、どう説明したらいい
のか。超長くなりそう。

慣れている。

へ、まあ、とにかく欒は「一端別れた幹や枝がもう

蓮 仁

一度重ねるように見える木」という表現があった。もう一度重ねる？

蓮 離れて、重なる。

蓮、わかってくれて、嬉しい。

うん、わたし、「しか」ね！

蓮 蓮ったら。

南小、似ている木が何本かあるような気がしない？ 似ているかも。範先生が帰ってきたら、聞こう。

鳥が鳴く、蝉も

仁

鳥も蝉も幸せ、こんな大木に止まれる。

蓮が窓から離れる。隣のベッドの椅子を窓際に持ってくる。鞆からものを出す。

蓮 仁

座りな。

はい

茉莉花茶、どうぞ。

いい香り。私も持ってきたよ、麦茶。今朝、煮出したの。

日本の？

うん、香riいいでしょ。

昔、うちのおばあちゃんちで飲んだような記憶あるかも。

仁

母の古里で飲んだよ。おばあちゃんに会いに行ったとき。今、いろんなお茶があるもんね。

蓮 仁

からだによさそう。

子供達、学校や幼稚園でもいつも出してもらっているよ。炒った穀物、消化の助けに役立つもんね。

蓮 仁

香ばしいね、なんか効きそう。

そんな早く効くの？ 持ってきたのはいっぱいあげるね。自分で煮出して。

蓮

ありがとう。

蓮が仁に小袋を渡す。

仁

えっ、なに？ 瓜子！ 炒瓜子！（ひまわりの種、炒ったもの）薄荷（はっか）味。

仁が椅子から跳び上がって、蓮の腕をつかみ、

ゆする。
窓の外、鳥が鳴く。

仁 蓮 仁 蓮 仁 蓮 仁 蓮 仁 蓮
Darling ~ I love you ! from the bottom of my heart !
はいはい、座って食べな。今の、日本語？
英語！ 蓮、全部先生に還してしまったの！
もともと好きじゃなかったし。
そうね、使わないし。意味は、「ダーリン、愛して
いるわ、心の奥から」
寒！
そうよね、東洋人は引いてしまう。日本人も、平気
に言える人は、みんな「あいつ」おかしくないと密
かに思われてしまうよ。ストレートすぎる。
劇場なら別ね。
そのとおり。

仁 蓮 仁 蓮 仁 蓮 仁 蓮 仁 蓮 仁 蓮
ふたりが笑う。蝉が鳴く。仁が瓜子を剥く。
そう言えば、日本で殻付きのひまわりの種、ペット
ショップでしか売ってないよ。りすの餌なの。
まじ！
最初の頃、日本に行ったばかりの時、りす用とわか
りながら買って。炒って食べていた。
りすも食べられるなら、大丈夫じゃない。
普通はそう考えるでしょう。
普通だよ。
小林ね、りす用だから汚いって。使ったフライパン、
キレイに洗ってね！
高温消毒、いいじゃん。
なんか、ペット食用には農薬の検査基準がゆるいら
しい。
りすになるしかないね、大好物なもの。
いやよ。ペット、野生ならね、木が好きだから。

仁が外を見る

仁 蓮 仁 蓮 仁 蓮 仁 蓮 仁 蓮
あの木ならいそう。
りすは無い、無い。都市だよ、いくら大木でも。
あの樫の木、四、五十代かな？
何？ この自信ぶり、わからないでしょう。
へ、へ、もっち、わかんないよ。
おバカ、また、あの「クサカムリのカン」(注)
No. No. なんでもかんでも、違うわ。今度は、蓮

蓮 蓮想、何と何？
あなたとわたし。

(注) 仁の苗字は、「蘇」で草冠がついている

仁が突然歌いだす。蓮が静かに座っている。

蓮 「大きな栗の木の下で、あなたとわたし、仲よく遊
びましょう。大きな栗の木の下で」

きれい。

蓮 でしょう、雲雀みたい。

仁 おバカ、メロディだよ。顔の皮、厚くなったね。

蓮 ちよつとね。遅しくならなくては、

仁 あく、綺麗な声、やっぱり雲雀みたい。

カラスが鳴く

仁 今の、童謡なの。意味は、「あなたとわたし、この
大きな木の下で遊ぶ」だよ、いつも仲良くてね…
いい意味だね。四十になっても、五十になっても擧
ね。

蓮 真の親友だね。すぐわかってくれるもん。ね、この
童謡、今の歌詞しかないよ。繰り返して何回も何
回も歌えるのよ、永遠にも。それなのに、この曲に
一回も飽きたことがないわよ。とても不思議と思う。
あなた？ 飽きないあなた？ 私も不思議に思うわ。
ね、いつまでからかうのよ。真面目の話だよ。
真面目。

仁が真面目な顔している。

(ピポピポ) 救急車の近づく音

蓮 ごめん。

仁 芙美と私、この歌よく児童館で歌っていた。
児童館？